



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

平成 29 年 8 月 28 日 (月) No. 5  
横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

## しなやかな心・生きぬく力

副校長 富岡 直子

地域や訪れた先で、いろいろな体験をした子どもたちが一回り大きくなって笑顔で登校しています。ひっそりと静まりかえっていた教室に元気な子どもたちの声が戻ってきました。8月は雨の日が多かったのですが、台風5号の影響がある中、熊本に行く機会があり、熊本城を見てきました。外側から修復の様子を見ることしかできませんでしたが、熊本地震の被害の大きさを感ずるとともに修復に向けての願いも感じました。

地震を含め、災害はいつ起こるか分かりません。災害から身を守るためには、日頃から「災害時の行動」をイメージしておくことが大切です。本校でも、年間を通して、地震・火災・不審者対応など、様々な場面を想定した避難訓練を行っています。6月には、神奈川県警察本部・港南警察署と連携した不審者対応訓練を行いました。9月1日(金)には、防災総合訓練を行う予定です。震度6以上の大地震発災を想定し校内放送は使えない条件の中で避難訓練をします。このように、全教職員の共通理解のもと、様々な状況を的確に判断して行動し、自分の命を自分で守ることのできる子どもの育成を大切にしています。

また、家族で災害時の行動を話し合ったり、地域の防災訓練に参加したりすることは、みんなの命を守ることに繋がります。今年度は、学校と家庭・地域などが連携して行う地域防災訓練が丸山台中学校で10月22日(日)にあります。ぜひ、ご参加ください。

港南区では、今年度、港南区防災ガイドの小学校編が作成されました。その中に、港南区の防災5箇条が載っています。

- ① 話し合おう！(家族の連絡どうするの?)
- ② 備えよう！(最低でも、食料・飲み水3日分)
- ③ 圧死から身を守ろう！(家具の転倒防止と耐震対策)
- ④ 避難時は！(電気・ガスの元栓切って)
- ⑤ 地震だ！(となり近所に声かけて、まずは「いっとき避難場所」)

また、出かけるときは、おうちの人にどこへ行くかしっかり伝えたり、近所の人に進んであいさつして顔見知りになったりすることが、いざというときに自分やみんなを守ることに繋がることも伝えていきます。

これからの日常生活の中で、自らが自分・家族を守るために水や食料を備蓄したり、家具の転倒防止などを行ったりする「自助」や、みんなと互いに協力して助け合う「共助」の考えを実践化していくことが大切になります。今後も、子どもたちの健やかな成長のために、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。